

第4章 新市まちづくりの基本方針

第1節 新市まちづくりの基本理念と将来像

各町では、これまで、次の将来像のもとまちづくりを進めてきました。

<園部町>

緑豊かな環境と家族・社会の絆でひとを育むまち、そのベ

<八木町>

手づくり、夢づくりの楽園・八木 ~ひとが輝き、まちが輝く、ほんまものまちづくり~

<日吉町>

みどり人と出会いを愛するまち・ひよし ~ゆっくりひよし ゆったりひよし~

<美山町>

豊かな自然を生かした活力と健康のまち

これら4町におけるまちづくりの方向性として共通するキーワードは、「緑・自然」「ひと・絆・出会い」であり、都会では感じることの難しい新緑豊かでみずみずしい自然に育まれながら、お互いに思いやりの心を持ち、個性を尊重し、そして、こころの豊かさを大切にしてきたといえます。

このようなこころの豊かさを今後とも継続して育んでいくために、新市では、各地域や市民の個性を交流・連携させることにより、こころふれあうぬくもりのあるまちづくりを行っていくことが必要です。

また、「緑・自然」や「ひと・絆・出会い」は、安全や安心のまちづくりを実現するための基本的な要素であり、住民アンケート調査においても、新市がめざすべき将来都市イメージは「安全・安心」などが多い意見でした。

こうした市民の意向を受けて、新市では健康で安心して暮らせるまちづくりを推進していくことが求められます。

一方、少子高齢化や財政状況の悪化を背景として、若者の定住や雇用の場の創出、交流人口の確保などが重要な課題となっています。住民アンケート調査では、新しいまちづくりで力を入れていくべき取り組みとして、「若者が定住するためのまちづくりの推進」が最も多い意見でした。

新市には、自然環境や観光資源、学生のまち、高度医療のまちなど、他都市にはみられない地域資源があり、これらは市民の誇りです。今後は、地域の個性を連携することにより、新市に豊富に存在する地域資源を活用することが必要です。

そして、市民がふるさとに誇りをもって、未来に希望をもてるまちづくりが必要といえます。

こうしたことから、新市のまちづくりにおいては、次の3点を基本理念として設定します。

<基本理念>

交流と連携によりこころふれあうぬくもりのあるまちづくり

健康で安心して暮らせるまちづくり

ふるさとに誇りをもち、未来に希望をもてるまちづくり

また、3つの基本理念をふまえ、新市の将来都市像を次のように設定します。

<将来都市像>

ふるさとに誇りと希望をもち、
安心して暮らせる、“ぬくもりのあるまち”
～農村にもう一度ひとが住み、若者が定住できる環境づくり～